

専門教育科目

講義科目

科目名： 簿記3級をめざす		科目コード	HH76	
科目主査： 依田 朗裕		担当講師： 依田 朗裕、矢島 正	単位	2
			配当年次	1
授業の目的と概要		グループワーク： <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
<p>「簿記を基本から学ぶ」などの簿記の入門科目の修了者など、簿記の基本的な知識がある人を対象にした、日商簿記検定3級の合格対策のための科目である。そのため日商簿記検定3級合格のための受験対策テキストを用いる。複式簿記の基礎的な考え方を一通り理解し、日商簿記検定3級の合格に必要な知識の習得をめざす。 ※注意：簿記の初学者を対象とした科目ではない。</p>				
履修の前提となる科目	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	科目名： 「簿記を基本から学ぶ」他、簿記の基礎科目		
履修の前提となる知識 その他特記事項	簿記の初歩を学んだことがある人が対象です。全くの初学者は「簿記を基本から学ぶ」などの初学者対象の簿記科目を先に履修してください。スクーリングの受講効果を高めるため、事前学習は重要です。必ず事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングし、講義中にチャットで質問できるようにしておきましょう。			
テキスト	『みんな欲しかった！簿記の教科書 日商3級 商業簿記』, 滝澤 ななみ, TAC出版			
この科目の到達目標	①複式簿記の基本構造を理解し、日商簿記検定3級の範囲の仕訳が一通り作成できる。 ②総勘定元帳・試算表・精算表・財務諸表の特徴と仕組みを理解し、日商簿記3級の本試験問題を解く力を身につけることができる。 ③その他日商簿記検定3級に合格するための必要な知識を習得することができる。			
成績評価の方法	1日目終了後の課題及び最終試験の得点に、講義中の取り組み姿勢（チャットの発言や質問の積極性）を加味して評価します。			
事後学習	今回のスクーリングで日商簿記3級合格に必要なインプットの6～7割程度はカバーできます。事後学習で足りないインプットを補った後、過去問題集などでアウトプットの訓練をすれば合格がみえてきますので、是非本試験にチャレンジしてください。アウトプット用に下記の問題集等を参考にしてください。なお、今回のスクーリングでは時間の関係により、CHAPTER03・04・06・07については一部、CHAPTER09については全く触れませんので、各自テキストで学習し、各章の基本問題を解きましょう。			
事後学習の参考文献	『みんなが欲しかった！簿記の問題集 日商3級 商業簿記』 滝澤 ななみ, TAC出版, 最新版 『合格するための本試験問題集 日商簿記3級』 TAC簿記検定講座, TAC出版, 最新版 『日商簿記3級 みんなが欲しかった やさしすぎる解き方の本』 滝澤 ななみ, TAC出版, 最新版			
スクーリング受講時に用意するもの				
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 電卓 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。				